

国立大学法人長崎大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成26年10月27日(月) 教育学部2階第5会議室	
委員	委員長 赤羽 耕介 (公認会計士) 委員 山口 裕介 (弁護士) 委員 木村 康博 (国土交通省九州地方整備局 長崎河川国道事務所長)	
審議対象期間	平成26年1月1日 ~ 平成26年6月30日	
抽出案件(合計)	7件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事(小計)	5件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	5件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

質 問	回 答
<p><b>1. 国立大学法人長崎大学において発注した建設工事について</b></p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p><b>2. 国立大学法人長崎大学において発注した設計・コンサルティング業務について</b></p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p><b>3. 指名停止等の措置状況について</b></p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p><b>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</b></p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p><b>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b></p> <p><b>(1) 一般競争入札</b></p> <p><b>【(文教町2)学生会館(食堂)屋上防水改修工事】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・落札率が他の工事と比較して低いのは何が原因か。</p> <p>・予定価格は適正であったのか。</p> <p>・最低基準価格を設定していないのは何故なのか。</p> <p>・適正な施工が行われたかの確認はどのようにされているのか。</p>	<p>・防水工事専門業者であり、下請けを使わないことで、経費を抑えられたのではないか。また、受注意欲が高かったと思われる。</p> <p>・予定価格については、見積書及び物価資料により適正に算出している。また、2位の応札者は昨年同様の工事を落札しており、今回の入札価格も予定価格に近い額であったことから、本学の予定価格は適正であったと考えられる。</p> <p>・本学では、予定価格が1000万円を超える工事について最低基準価格を設定している。1000万円以下の工事については、文科省や他大学の動向を見ながら必要とあれば今後検討する。</p> <p>・施工計画書により工法及び材料の品質確認を行うとともに現場管理を徹底し、適正な施工の確認を行っている。</p>

質 問	回 答
<p>・過去に手抜き工事が行われた事例はあるのか。</p> <p><b>(2)一般競争入札</b>  <b>【(坂本2)総合研究棟(歯学部本館等)改修機械設備工事】</b>  (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・再公告したものであるが1回目の公告のときと工事内容は違うのか。</p> <p>・入札に参加する業者は何者くらいを見込んでいたのか。</p> <p>・予定価格はどのように積算したのか。</p> <p><b>(3)一般競争入札</b>  <b>【(文教町2)屋外サイン設置等工事】</b>  (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・撤去した廃棄物を適正に処理したことを確認しているのか。</p> <p>・入札結果一覧表に入札書不着と記載されたものと、辞退と記載されたものがあるが違いは何か。</p> <p>・辞退や入札書不着となった業者にはペナルティはないのか。</p> <p><b>(4)一般競争入札</b>  <b>【(白鳥町)建物とりこわしその他工事】</b>  (事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・低入札調査を行っているが、内容はどのようなものなのか。</p> <p>・低入札調査時のヒアリングにおいて内容確認がなされているが、アスベスト除去作業や住民説明会の資料作成については、どのように確認しているのか。</p> <p><b>(5)一般競争入札(総合評価落札方式)</b>  <b>【(坂本1)講義実習室改修工事】</b>  (事務局より資料に基づき概要説明)</p>	<p>・事例はない。</p> <p>・一部、仕様を変更している。</p> <p>・1回目の公告のときと同様に4社程度を見込んでいた。</p> <p>・市場調査を行い、再度見積書を取り直し反映させた。</p> <p>・業者からマニフェストを提出させ確認を行っている。</p> <p>・入札書不着とは応札期間内に入札行為を行わなかった業者で、辞退と記載された業者は入札システム上で辞退表明を行った業者である。</p> <p>・ペナルティはない。</p> <p>・業者に入札事情説明書を提出させ、手持ち工事及び手持ち資材等の状況、労務者の具体的供給の見通し、経営状況等を調査し、契約履行できるかを確認するものである。</p> <p>・工事着手前、施工段階において現場で確認を行っている。</p>

質 問	回 答
<p>・実績評価型総合評価落札方式で入札を行っているが、入札者7社のうち6社が同じ評価点で残り1社も1点しか差がついていない。評価項目の設定は正しかったのか。</p> <p>・配置予定技術者の工事実績の内容等で点数に差をつけるなどの工夫があってもよいのではないか。</p> <p>・入札事情説明書において、入札金額決定理由に「労務及び資機材の調達において経費を抑えることができる」と説明しているのに、現場管理費及び一般管理費から減額しているのはおかしくないか。直接工事費から減額すべきではないのか。</p>	<p>・評価項目としては、企業の施工能力(同種工事の実績、工事成績)、技術者の同種工事の実績、コンプライアンス、地域精通度を設定している。評価基準に沿って評価しているが結果的に点数による差はつかなかった。</p> <p>・今後検討する。</p> <p>・そのとおりである。</p>
<p><b>(6) 一般競争</b></p> <p><b>【(白鳥)建物とりこわし等設計業務】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・業務内容は何か。</p> <p>・4回目に落札しているが設計業務の見積合わせではよくあることなのか。</p> <p>・設計期間が約1ヶ月しかないが短期間でできる業務なのか。</p>	<p>・既存の建物及び工作物のとりこわしを行うための調査・設計業務である。</p> <p>・規模の小さい設計業務では回数が多くなる傾向にある。</p> <p>・敷地測量等は事前に行っていたため可能である。</p>
<p><b>(7) 標準型プロポーザル方式</b></p> <p><b>【(坂本1)講義実習室改修設計業務(建築・設備)】</b></p> <p>(事務局より資料に基づき概要説明)</p> <p>・設計事務所の選定において「長崎大学または長崎県内の大学における実績」としているが、多くの参加者を確保するためにも九州地区まで拡大をしないのか。</p> <p>・特定されなかった業者には評価結果をどのように伝えているのか。</p>	<p>・規模の小さい設計業務では他県の業者が参加した実績もなく、問い合わせに対しても消極的であったため今回は長崎県内の大学での実績を持つ業者とした。</p> <p>・特定結果書を作成し、特定されなかった業者には理由を付して通知している。</p>